



**最短修業年限超過者等に係る事由書**

**(別途、[様式10-2] 教員所見も添付すること)**

- 注1. 前期は4月1日、後期は10月1日現在の状況で記入すること。
- 注2. 本事由書作成の前に裏面を必ず読んでください。
- 注3. 特に慎重な審査を要する場合は、追加の資料等を求める場合があるので留意してください。

年 月 日

学部・研究科名	課程	学科・専攻名	入(進)学年	学年	学生番号
学部 研究科 学舎 教育部	学部 修士 博士 専門職		西暦  年 月		
					氏名
					電話番号

<b>1. 病気の場合</b> ※ 修業年限を超えた理由が病気による場合は、医師の診断書等(病気期間の記載があるもの)を添付してください。	<b>2. 留学の場合</b>
病名 _____ 期間 西暦 年 月 日～西暦 年 月 日 休学期間 西暦 年 月 日～西暦 年 月 日 (病状について) ----- ----- -----	留学先(国名) _____ 大学名(機関名) _____ 留学期間 西暦 年 月 日～西暦 年 月 日 休学期間 西暦 年 月 日～西暦 年 月 日 留学種別 (該当する番号を○で囲んでください) ① 国費(日本政府奨学金 ※日本学生支援機構含む) ② 公共団体等からの助成 団体名 _____ ③ 大学の交換プログラム等 ④ 私費

**3. 大学院の博士学位論文作成の場合** ※ 修業年限超過の期間が1年を超える場合は免除の対象としません。

《研究題目》

(進捗状況の概略)

-----

-----

-----

**4. その他の場合** (4-1～4-3まで記入必須)

**4-1. 以下、該当する箇所にチェックしてください。**

(1) 出産・育児・介護

(2) 国等の要請に応じて休学し、公益事業(青年海外協力隊、兵役等)に参加 ※1)

(3) 学資獲得のためのアルバイト苦による場合(留学生を除く) ※2)

(4) 申請者本人が障害者であるため学業・研究において修業年限以上の期間を要すると認められる場合

※1) インターシップの場合は、①機関②期間③研究との関連④業務内容等も含めて必ず記入してください。  
 ※2) アルバイト(留学生は除く)の場合は、①経済的必要性②アルバイト状況(いつから週○時間勤務等)も含めて必ず記入してください。(根拠書類を求める場合があります。また、学内のTA/RA/OAはその根拠となる総労働時間数がわかる予定表等を提出すること)

**4-2. 時系列・理由を記入してください**

年度 (4月～3月)	在籍年数	最短超過にかかわる理由 (例: 兵役・育児等)※それ以外は在学と記入	具体的理由
年度	1年目	前期(4月～) 後期(10月～)	
年度	2年目		
年度	3年目		
年度	4年目		
年度	5年目		

**4-3. 休学期間を記入してください** 西暦 年 月 日 ～ 西暦 年 月 日

**最短修業年限超過者等に係る事由書（教員所見）**

指導教員の方へ

- ・申請者記入の〔様式10-1〕最短修業年限超過者等に係る事由書を確認の上、以下の1～3をご記入ください。ご記入後、封筒（任意の形式）に入れて糊付けの上、申請者本人に渡してください。

**本人記入欄**

学部・研究科名	課 程	学科・専攻名	入(進)学年	学年	学生番号	
学 部 研究科 学 舎 教育部	学部 修士 博士 専門職		西暦 年 月		氏名	

**教員記入欄**

1. 上記申請者の最短修業年限超過事由等に対する指導教員等の所見

---



---



---



---

2. 今年度卒業・修了の見込み	有り ・ 無し
-----------------	---------

(以下の3. 記入日・教員署名等もご記入ください。また、所見欄では不足する場合は、以下の余白にもご記入ください。)

3. 記入日・教員署名等

西暦 年 月 日 (指導教員) 職名・氏名 \_\_\_\_\_